

会 議 議 事 録

1 会議名	令和元年度 第1回長岡市図書館協議会
2 開催日時	令和元年7月29日（月曜日） 午後1時30分から午後3時20分まで
3 開催場所	長岡市立中央図書館 2階 講座室1
4 出席者名	<p>（委員）10名</p> <p>渡邊誠介委員長 淵本紀子副委員長 堀口真利子委員 八木浩幸委員 山本久委員 渡邊茂夫委員 遠藤悦子委員 北沢一美委員 大川いずみ委員 酒井実通男委員</p> <p>（事務局）9名</p> <p>小池教育部長 山田館長 梅沢館長補佐 梶山庶務係長 松矢奉仕係長 田中文書資料室長 井口主査 指定管理者：長谷川統括責任者 渡辺業務チーム</p> <p>（傍聴人）0人</p>
5 欠席者名	なし
6 議題	<p>（1）報告事項</p> <p>①平成30年度長岡市図書館活動評価について ②令和元年度長岡市立図書館の運営方針について</p> <p>（2）協議事項</p> <p>①図書館活動評価の見直しについて ②令和元年度長岡市図書館活動評価（案）について</p>
7 審議結果の概要	<p>議題（1）について</p> <p>報告事項①、②について説明があった。</p> <p>議題（2）について</p> <p>事務局提案のとおり決定した。</p>

8 審議の内容	
委員長	最初に、(1) 報告事項 「①平成 30 年度長岡市図書館活動評価について」事務局から説明をお願いします。
事務局・館長	<p>「資料 1」の平成 30 年度長岡市立図書館の活動評価（案）をご覧ください。始めに概略を説明します。1 ページの評価の趣旨、評価の項目については記載のとおりです。2 ページの評価の方法については、主に数値データを基にした基本評価と、ソフト事業の成果を評価する重点事項評価の二つの区分により評価を行っています。</p> <p>(2)に記載のとおり 2 月に開催しました協議会において、平成 30 年度の事業について平成 30 年 12 月末までの数値データ、実施済事業を評価いただいているので、本日は 2 月に報告した評価と年度末の数値データに基づく評価で変更となった部分について説明します。</p> <p>7 ページをご覧ください。平成 30 年度の欄は、平成 31 年 3 月末の数字に更新されています。変更点は 3 点あります。実登録者数ですが、昨年の 12 月末時点は 32,175 人で B 評価でしたが、その後 3 月末時点では 35,196 人となり、前年度比プラス 0.7%で A 評価に変更になりました。</p> <p>インターネットアクセス件数ですが、12 月末時点は 212,290 件で前年度同時期の 234,671 件と比較してその時点では B 評価でしたが、3 月末時点では 277,716 件となり前年度比マイナス 10.5%で C 評価に下がることになりました。</p> <p>新規購入冊数ですが、12 月末時点では 10.7%の増加で AA 評価でしたが、3 月末時点では 4.7%の増加に留まっていますので、A 評価に変更になりました。基本評価については以上の 3 点が変わりました。</p> <p>9 ページをご覧ください。重点事項評価については、12 月にほとんどの事業が終わってしまっていたので、2 月の協議会で評価いただいたところからの変更点はありません。2 ページの評価の概要をご覧ください。「基本評価は、評価対象の 13 項目中 9 項目が AA、A 評価となり、平成 29 年度の 2 項目を上回る結果となった。B 評価は入館者数等が A 評価となったことから、平成 29 年度の 10 項目から 3 項目へと減少した。また、C 評価が 1 項目であった。重点事項評価は、事業別評価の 20 項目では、AA 評価が 1 項目、A 評価が 19 項目となった。また、総括評価では、すべてが A 評価以上であったことから、全体としては、優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている。」という評価の概要になっています。</p>

委員長	<p>3、4ページの図書館協議会意見は、2月の協議会で委員の皆様からいただいた意見をまとめて記載したものです。貴重なご意見を今後の図書館運営に生かしていきたいと考えています。</p> <p>ただいまの説明に何か御質問、御意見はありませんか。</p>
委員	<p>インターネットアクセス件数の減少について、何かいい対応方法がないか考えてみたい。</p>
委員	<p>インターネットアクセス件数について、自分が利用者だったら、図書館のホームページにどんな場面でアクセスするのか。今開催している所蔵展などに興味があればアクセスするが、他ではあまりないと思う。</p>
事務局・館長	<p>インターネットでは、新刊書や人気の本を予約することや、蔵書検索の利用が多いと考えています。予約の本が準備できるとメールで通知があるなど大変便利で利用されています。また、毎週の新着図書もホームページにアップしています。ただ、現在は、ホームページのトップページをカウントする仕組みとなっていて、スマホでの利用部分はカウントされていない状況です。</p>
委員	<p>自宅のパソコンは、職場とは違って常に起動しているわけではないこともあり、スマホでアクセスすることが多いのではないかと。スマホ利用についてもカウントできるとよい。</p>
委員長	<p>続きまして、報告事項②「令和元年度長岡市立図書館の運営方針について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>「資料2」をご覧ください。令和元年度の1の運営方針については変更ありませんが、2の重点事項に年度ごとの特徴を持たせています。アンダーラインの部分が平成30年度と変わっているところです。平成30年度は図書館開館100周年でしたので、100周年を機に色々な事業展開をし広報を積極的に行いました。令和元年度については、3の「積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施」までは同じですが、昨年度の100周年事業の結果かなりの利用者増という結果になりましたので、引き続き関係機関との連携などにより利用者の興味を引く企画・広報を行い、「利用者の拡大を図る」ことを目標にして</p>

	<p>いきたいと思います。</p> <p>続いて4番ですが、時代を担う子ども達の育成、情操環境を豊かにするために、長岡市子ども読書活動推進計画を定めていますが、基本に立ち返りまして子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組むということ、ただ大きなイベントを行うのではなく地道な活動から着実に本の価値をわかってもらい、子ども達の豊かな成長に資する活動を行うことを重点事項としています。</p> <p>5・6番は項番の入れ替えによりアンダーラインが引かれています。主な変更点は以上のとおりです。</p> <p>3の指定管理者制度に伴う運営の基本方針については、当初から変更ありません。以上です。</p>
委員長	<p>ただいまの説明に何か御質問、御意見はありませんか。</p>
委員長	<p>これは報告ですので、事務局の説明でよろしいですね。</p>
委員長	<p>それでは、次の議事に移ります。(2)協議事項「①図書館活動評価の見直しについて」を事務局から説明していただきます。</p>
事務局・館長補佐	<p>それでは、「図書館活動評価の見直しについて」、資料3と本日配布の資料3-1、3-2を使って、説明します。</p> <p>まず、この図書館活動評価の見直しについては、昨年度の第2回協議会で検討していただきまして、単純に前年度の数値と比較する方法から、あらかじめ決めた目標とする数値と比較するという方法、このようなやり方に変更することについては、前回の協議会で御承認いただいています。今回は、数値目標案をお示ししますので、御協議いただき、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>資料3の左側をご覧ください。1の見直し後の評価方法ですが、表にありますように、区分に、基本評価と重点事項評価があります。基本評価の「前年度」を「数値目標」に変更しますが、AAやA、B、Cといったパーセンテージは変更ありません。重点事項評価も昨年度と同様になっています。</p> <p>2の「数値目標にあたって」ですが、先程、館長から説明がありましたとおり、長岡市立図書館の運営方針の中で利用者の拡大を図るということを重点事項としていることから、基本評価についても昨年度以上の利用増加を目標としたいと考えています。平成30年度は、開館100周年に伴う各種事業の展開、広報などにより、入館者数、個人貸出冊数などが前年度と比較して増加しましたが、この</p>

勢いを継続して図書館の利用につなげていきたいと考えています。そのため、新規事業ベビーパックや各機関との連携事業などの実施に力を入れまして、引き続き広報周知を図り、市民に図書館の存在を知ってもらい、利用してもらいたいと考えています。

また、南地域図書館が空調設備工事のため、9月の1か月間は休館の予定です。その間については、一部業務を近くの南部体育館で実施する予定ですが、利用の減少が見込まれます。

つづいて、3の基本評価項目については、資料3-1の過去5年間の表と、資料3-2のグラフをご覧いただきながら、説明します。

資料3-1の1番上の入館者数ですが、3-2のグラフにもあるように、近年減少傾向にありましたが、平成30年度は図書館開館100周年事業の成果などにより増加しました。令和元年度は、開館日数が2日増加することと、事業展開を工夫することにより、平成30年度1日当たりの入館者数1,087人の2%の増加を目標にします。

個人貸出冊数については、南地域図書館の1か月の休館・各館の開館日数を考慮した上で、平成30年度1日当たりの貸出冊数の2%の増加を目標にします。

予約件数については、近年増加傾向にあり、利用者の利便性も高まることから、平成30年度の実績より5%の増加を目標にします。

有効登録者数と実登録者数については、近年減少傾向ではあるものの、利用者増を目指しているので、様々な事業の実施と広報周知を行うことにより、平成30年度の2%の増加を目標にします。

登録率については、登録率を算出するとき、登録者数を長岡市の人口で割るのですが、長岡市の人口を予測することは非常に困難ですので、参考数値とさせていただきます。

インターネットアクセス件数については、先程も話題になりましたが、近年減少傾向が続いていますが、今年度は現状維持を目標にします。

中央図書館開館日数については、基本的には運営規則で開館日が決まっています。ですが、月末の日が土日にあたる場合特別開館するなど、ルールの中で利用者の利便性を考えてなるべく開館日を増やすようにしていますので、参考数値とさせていただきます。

特別資料の転載等許可件数については、これまでどおり、参考数値のままとします。

郷土資料受入点数については、郷土資料出版点数の減少が見込

	<p>まれますので、過去5年間の平均の数値を目標にします。</p> <p>窓口対応満足度については、資料3では過去5年間の平均とありますが、過去3年間と修正をお願いします。これは、過去3年間の満足度が高いため、この期間の平均を目標にしたいと思います。</p> <p>大活字本の所蔵冊数については、大活字本は出版点数が限られるため、昨年度の実績をやや上回る7,000冊を目標にします。</p> <p>新規受入冊数の割合については、割合を基準にしたいと思いません。昨年度に比較して予算も減少傾向にあります。予算内で選書を工夫するなどして、昨年度実績の維持を目標にします。</p> <p>以上で説明を終わりますので、ご審議をお願いいたします。</p>
委員長	<p>ただいまの説明に何か御質問、御意見はありませんか。</p>
委員	<p>インターネットアクセス件数と予約件数との関係のことでお伺いしたい。</p> <p>インターネットアクセス件数のうち予約件数が大きな割合を占めているとの説明があったが、予約件数は2%増を目標としているが、インターネットアクセス件数は現状維持となっている。予約以外のその他のアクセスについてどのように考えているのか。</p>
事務局・館長補佐	<p>現状ではインターネットアクセス件数は、パソコン上のトップページにアクセスしたときのみカウントしています。スマホで検索、予約の場合カウントに入っていない状況です。先程話題になりましたように、現在スマホでの利用が大変増えている状況ですので、カウントの仕組みについては、システム改修も必要となるので、より適切な数字が把握できるように検討したいと思います。また、予約件数に占めるインターネットの割合は約8割となっています。予約制度はとても便利ですので、今後も利用が見込まれると考えています。</p>
委員	<p>私自身、あまりアクセスしたことがない状況であるが、魅力的なホームページ作りをお願いしたい。</p>
事務局・館長補佐	<p>図書館でフェイスブックなども活用してイベントなどを周知していますが、今後も魅力的なホームページ作りを工夫していきたいと思いません。</p>
委員	<p>市や教育委員会のホームページのフェイスブックに情報提供を</p>

	しているのか。
事務局・館長	連動するようにしています。例えば、映画「アルキメデスの大戦」では、図書館で山本五十六コーナーを設けていることを広報課と連携して、長岡市のフェイスブックと図書館のフェイスブックの両方でお知らせしています。
委員長	今の委員の話を見ると、インターネットでの予約方法についてプリントしたものを学校に配布すれば、やり方がわかるのではないかと。検討してもらいたい。
委員	最近はパソコンを開くことが少なくて、アイパッドや 아이폰 で用事を済ますことが多い。図書館の予約についても 아이폰 を使っているが、今の仕組みだとカウントされていないのか。
委員長	システム改修をしないとカウントできないということですね。
委員	今は、持ち歩いてどこでもアクセスできることもあり、アイパッドなどを使う人が増えてきているので、そこは考えてもらいたい。また、図書館でフェイスブックをしていることは知らなかった。
事務局・館長補佐	図書館の周知が足りない部分があると思いますので、周知していきたいと思います。
委員	窓口対応満足度について、パーセントの分母と分子を教えてください。
事務局・館長補佐	毎年夏に利用者にアンケートをとっています。アンケートの項目は、9項目の質問があります。窓口の対応はいかがでしたか、館内や本棚の表示はわかりやすいですか、本の種類は充実していると思いますか、中央図書館にある本のうちどのような分野の充実を希望されますかといった項目があり、最後に年齢、性別等をお聞きしています。大変よい、よい、ふつう、悪い、大変悪いの5段階で評価してもらい、大変よいとよいを合わせた数字が80数パーセントとなっています。
事務局・館長	改善要望などがあれば、ただちに対応して、その結果を掲示しています。

委員長	有効登録者数を２パーセントの増加目標となっているが、年齢別、性別ごとのデータはとれているのか。
事務局・館長補佐	前回、委員からのご指摘がありましたので、年齢別の集計をしてみました。有効登録者数の年齢分布について１０歳刻みで報告します。まず、合計の人数は約４５，０００人で、９歳以下は１１．１％、１０代は１３．５％、２０代は７．７％、３０代は１３．３％、４０代は１６．０％、５０代は１１．２％、６０代は１４．３％、７０代は９．８％、８０歳以上は３．１％という結果になりました。特に、２０代が７．７％で少ないこと、４０代が１６．０％で一番多いこと、次に多いのが６０代という点が気になるところです。
委員長	男女比のクロス集計はできるのか。
事務局・館長補佐	貸出カードを作る際に、男女の記載がないため、男女別のデータはありません。
委員長	僕の想定だと、定年退職されて男性は図書館デビューということが多いのでは。あまり群れないのが男性。ただ、蔦屋書店でも同様だと思うが、図書館では何が違うかといえば、新聞が読めること、そのような理由で図書館デビューするという話をよく聞く。そういう方々がさらに活用するようターゲットとするのか、お子さんをお持ちの子育てのお母さんたち、お父さんたちがデビューするところを狙うのか、セグメントによって随分と方向性が違うと思うので、このデータはかなり貴重だと思う。こういうセグメントの人たちが何を求めているのかはかなり違うので、これに基づいてやって、どの年代が伸びる伸びないがわかると、戦略がより有効になっていくと思う。
委員長	それでは、「図書館活動評価の見直し」については事務局提案に決定します。続いて、協議事項「②令和元年度長岡市図書館活動評価（案）について」説明をお願いします。
事務局・館長	「資料４」をご覧ください。まず、基本評価については、先程御協議いただいたとおり、数値目標を定めてその数値目標の達成度を評価したいと思います。 次に、資料４の左側重点事項については、先程運営方針のところ

<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>で説明しましたものと同一です。重点事項の1から6に基づいて、それぞれ重点事業を定めて運営しています。これらの記載事業の成果を基に重点事項を評価してもらう仕組みになっています。詳しい重点事業の内容について各担当係長から説明します。</p> <p>「重点事項1、当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。」の①貴重資料の公開ですが、エントランスホールで月ごとにテーマを決めて、貴重な資料、軸物、書画などを展示しています。今年度は、井上円了没後100年に合わせて円了の書を展示しました。現在は、所蔵版画展に合わせて版画を展示しています。今年度はフェイスブックで貴重資料を定期的に公開したいと思います。</p> <p>②郷土資料の充実です。郷土資料は自費出版など、一般の流通に乗らないことも多く、新聞や古書目録などから情報収集をして積極的に収集したいと考えています。</p>
<p>事務局・文書資料室長</p>	<p>③から⑤までの活動については文書資料室の事業になります。③古文書等の歴史資料の収集・保存・活用です。所蔵する資料の目録を作成し、公開して市民の利用に供するという活動です。本日お配りしたチラシにもありますが、市史双書を編集・発行しています。今回の市史双書は寄託を受けて整理が終わっている安禅寺文書を翻刻したものです。</p> <p>④歴史公文書の収集・保存・活用です。市役所の文書で保存年限が満了したものの中から歴史的価値を有する資料を保存しています。市役所での内部公開を検討しているところです。</p> <p>⑤長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用です。今回配布しましたカラーのパンフレットに活動が記載してあります。特に市民協働に力を入れており、資料整理ボランティアと資料を整理したり、中越地震から15年という節目でもありますが、長岡市の災害対応の経験・教訓を伝える記録資料として広く公開・活用するという事業です。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>「重点事項2:課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。」です。①図書館蔵書の充実ですが、市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌などの収集、活用、保存に努めるものです。毎週、中央図書館の職員と地域図書館の職員とで選書会議を行い、購入図書について検討しています。また、毎週見本図書を取り寄せて、内容を確認しながら購入する場合</p>

	<p>もあります。今年度は、地域図書館の図書、特にビジネス書関係の充実を図りたいと考えています。</p> <p>②レファレンスサービスの充実ですが、色々な調べものを行っている利用者に、図書や雑誌、オンラインデータベースなどを使って、情報提供をしています。照会を受けた職員だけではなく、係全員のチームワークで対応しています。わからない場合、市の関係課や県立図書館などに照会する場合があります。そして、調査の事例は記録して係内で共有して、次回同じ質問があった際に活用しています。また、パスファインダーという調べものの道標となるパンフレットを作って設置することで、利用者の調査の一助としてもらえればと考えています。市役所の庁内の調べものにも協力しており、市の業務に図書館を役立ててほしいと考えています。</p>
事務局・庶務係長	<p>③図書館の環境整備について説明します。今年度実施する環境整備の内容については、資料のとおりです。図書館も随分年数が経過しています。建物の延命と機能の充実を図ることによって、来館者が安全に気持ちよく利用できるように設備の改修等を行っていきます。特に、高圧受電設備キュービクルの交換という大きな事業がありますが、中央図書館の開館以来交換していないため、改修することで安定した電気の供給を図っていきたいと考えています。また、ワイファイについて維持継続していきたいと思います。</p>
事務局・奉仕係長	<p>「重点事項3、積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る」、①所蔵版画展です。現在開催中ですが、中央図書館の開館に合わせて購入した版画を今回初めて美術センターで展示しました。これまでアクリルケースに入れて美術コーナーに置いてありましたが、草間彌生などの有名作家の作品もあり、今後も引き続き所蔵資料の活用に努めたいと思います。</p> <p>②各種機関と連携した事業の実施ですが、今年は太宰治生誕110年にあたり出身地の青森県五所川原市立図書館の呼びかけで47都道府県58の図書館で太宰治の関連図書コーナーを設置・展示し、中央図書館も参加しました。太宰の誕生日である6月17日に缶バッジと特製しおりをプレゼントするイベントを実施したところ、新聞2社とケーブルテレビの取材を受けました。それから、広報課の提案で映画に合わせて山本五十六コーナーを現在設置しています。また、新潟アルビレックスBBのバスケットボールの選手が夏休みの図書館ボランティアに参加したり、選手おすすめの本を紹介した</p>

<p>事務局・業務チーフ</p>	<p>りする予定です。</p> <p>③は地域図書館の活動となります。地域館については特色資料に関連した、または地域の団体・学校などと連携した事業を継続し実施します。それぞれの館におきまして、今まで繋がりを深めてきた地域の団体などと今年度も事業を行うことで連携しています。また、調べる学習コンクールなど図書館資料を活用した事業を展開していきます。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>続いて、「重点事項4、長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む」、①子ども読書活動推進計画関連事業の実施です。各図書館で毎週行っている親子タイムですが、赤ちゃんや小さなお子さんを連れての図書館利用がしやすいようにしています。地域館ではお話し会やイベントの後に導入しています。</p> <p>昨年度試行したベビーバックですが、8月6日から本格実施します。0から2歳児向けの本を、赤ちゃんの生活や興味に合わせて、たべもの、あそび、ことばなどのテーマで3冊ずつのセットにして袋にいれて用意します。どんな絵本を選んだらよいかわからないお母さんや、赤ちゃんと一緒にゆっくり選んでいる時間がない親子連れの方に喜んでいただけるのではないかと考えています。</p> <p>②中高生向け図書館サービスの充実ですが、今年も謎解きゲーム「図書館からの挑戦状」を実施する予定です。昨年度から中央館と地域館合わせて実施していますので、今年も続けたいと思います。また、中高生向け広報紙エンジンをリニューアルし、市内の中学生全員に配布することにしました。それから、中央館の中高生向けコーナーの模様替えをしました。目印の黄色を目立つようにして、本の表紙を見せるように置くようにしました。</p> <p>③米百俵号による特別巡回の実施ですが、普段米百俵号は市内100か所を年10回巡回していますが、夏休み期間中は児童クラブ7か所を訪問して、読み聞かせやスライム作りなどのお楽しみ会を行います。また、米百俵まつりや雪しかまつり、栃尾美術館まつりに参加して、貸出やふれあい活動を行います。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>続きまして、「重点事項5、市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる」ですが、記載の①から③までの利用者アンケートの実施、ご意見ポストの設置のほか、図書館友の会のなりふの皆さんと連携した活動を展開して図書館の運営に活かしてい</p>

事務局・館長	<p>ます。</p> <p>「重点事項6、勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る」ですが、外部研修・職場内研修ともに、積極的に職員の資質向上のための研修を行っています。地域館の指定管理者であるTRCも独自の研修を行っていますので、効果が上がっています。</p> <p>今ほど説明しました重点事項評価5番と6番につきましては、基本的な事項ですので、評価については事務局内部の一次評価のみと例年させていただいていますので、今年も同様をお願いします。</p> <p>重点事項評価の説明については、以上です。</p>
委員長	<p>説明をありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明に対して、御質問や御意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>2番の①図書館蔵書の充実について、選書会議はどのようなものか。利用者からのリクエストについて検討するのか、それとも図書館で選ぶ本について検討するのか。</p>
事務局・奉仕係長	<p>両方とも検討します。リクエストも毎週100件程度あり、1冊ずつ検討しています。また、その週に出版された本について、購入する本を選んでいきます。痛んだ本の買い替えもしています。</p>
委員	<p>リクエストは先程のインターネットからか。</p>
事務局・奉仕係長	<p>インターネットの他に、図書館の窓口でのリクエストもあります</p>
委員長	<p>選書会議を公開するのも面白いのでは。ある意味図書館の心臓部といえる。</p>
事務局・館長	<p>リクエストされた本については、1冊ずつ司書が評価し、その本を買うかどうかを判断しています。また、見本の本が送られてくるので、中身を見て長岡市の図書館に入れる本を毎週200から300冊購入しています。</p>
委員	<p>絵本に造詣が深い外部の人を選書に入れている県もある。新規購入冊数について、ビジネス書の充実を図ると説明にあったが、児童</p>

事務局・館長	<p>書やビジネス書はどんな割合で購入しているのか。</p> <p>児童書の割合ですが購入の割合の統計数字はありませんが、中央図書館の蔵書の割合ですと29年度では、全体が約41万冊で、児童書が約6万3千冊となっていますので、約15%です。長岡市の図書館全体では蔵書が約90万冊で児童書が約25万冊ですので、約27%となっていて、児童書には力を入れています。</p>
事務局・井口主査	<p>ビジネス書については現在選定中です。ビジネスといっても範囲が非常に広いので、ご自分で就職する際に利用される資格取得の本や履歴書の書き方などについて、市内の全地域図書館を含めて選んでいるところです。年齢についても、高齢者の再雇用のための本や若い人が将来何になりたいかといった本など幅広く選書しています。</p>
事務局・奉仕係長	<p>人気があるのは、例えば、会社の数字の読み方、決算書の読み方、プレゼンするときの資料の作り方、転職、ドラッカー・松下幸之助などの定評のある経済書などです。中央図書館以外に地域館も充実させる予定です。</p>
委員長	<p>3大学1高専の立場からすると、若者の起業ということが重点になっている。そういうビジネスを立ち上げる、社長になるという本も選定されているか。</p>
事務局・館長	<p>はい、選定しています。また、そのようなテーマの本をナデックベースに現在も貸出しているところです。</p>
委員	<p>4番の①子ども読書活動推進計画関連事業の実施についてだが、おやこタイムやベビーパックについて説明があった。子どもが幼いうちにお母さんやお父さんのための事業はとても良いと思う。</p> <p>小学生について、ネット環境があふれ読書離れが言われているが、各学校でも、家読（うちどく）などの取り組みを行っている。子ども読書推進計画は単年度ではなく5年間の計画であるので、今年度は乳幼児に力を入れているが、今後、上の年代に対しても力を入れていくという方向性があるのか。</p>
事務局・館長	<p>子ども読書推進計画は、乳幼児期、保育園・幼稚園等期、小学校・中学校期といった年代別の構成になっています。まず今年度は乳幼</p>

	<p>児期をターゲットとしていますが、5年間の中で段階的に重点的な取り組みをすすめていきたいと考えています。</p>
委員	<p>4番の②中高生向け図書館サービスの充実について、具体的な事業はあるのか。</p>
事務局・奉仕係長	<p>謎解きゲーム「図書館からの挑戦状」を実施します。</p>
事務局・館長	<p>資料1の46ページに今年度実施したのがあります。始めてから2年目になりますが、中学生・高校生が参加するように工夫し、周知を行い、図書館に来るきっかけを増やしたいと考えています。今年度5月に実施した小学生向けのキッズ版は人気がありました。</p>
委員	<p>高校でも図書館は大事な位置を占めている。選書ともかかわると思うが、どういう図書を置くか、リクエストを全部購入したらお金が足りなくなるし、司書だけの選書も偏るとよくないと思う。</p> <p>退職したら自分も新聞を利用したいと思うが、県立図書館を見ても年配の方の新聞利用が目立つ。世代間によりニーズの違いがあるので、選書は難しいのではないかと。長岡の図書館でも、このコレクションはどこにも負けないといった強みが必要だと思う。高校の学校図書館でも、総花的ではなく、何を強みにするのかは難しい。生徒はスマホを持っているので、図書館の蔵書検索ができるといいと思う。SEなどの人材面で難しいが、新しいことをやるという発想が大事である。</p>
事務局・館長	<p>スマホの利用が多いので、中学生、高校生に貸出カードを作ってもらえるように最初のきっかけづくりなどを学校と協力してやりたいと考えています。</p>
事務局・館長補佐	<p>同じ高校生がおすすめした本、友達がすすめる本は興味を引きやすく、大手高校でもポップづくりをしているので、連携していきたいです。また、長岡市立図書館でも、夏休みボランティアで、参加した中学生におすすめの1冊を書いてもらって、読書のきっかけづくりにしています。</p>
委員	<p>職員よりも生徒のおすすめ本の方が読まれますね。</p>
委員	<p>長岡高専の図書館の図書委員をやっていたことがあるが、利用者</p>

	<p>が少ないのが課題だった。そこで、利用者が利用者を呼ぶことをテーマにやってみたらどうかと思い、読書マラソンという取り組みを行った。読んだ本の感想、学科、学年を書いて、本の紹介をするものを掲示板に貼って公開した。同世代がどんな本を読むか興味があるようで、利用者が増えた。ただ、書いた子には売店券がもらえるという特典があった。また、図書館の人がコメントをつけていたが、そうすると反応があることが嬉しいようで、本人がまた来館するようになった。</p>
<p>委員長</p>	<p>造形大では、図書館の本を参考文献にしてレポートを書かせるようにしたら、そのときは一時的に利用されていた。教員が図書館にある本を知らないと、生徒につなげられない。基本的なことだが、読んでほしい本を授業で紹介するようにしているなど、色々な努力が必要である。</p>
<p>委員</p>	<p>4番の②中高生向け図書館サービスの充実について確認だが、中高生向け広報紙ヤンジン市内全中学生に配布となっているが、今までも配布していたのか。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>これまでは1年生は全員に配布、他の学年はクラスで何枚か配布、高校生は図書室のみに配布していました。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>今後は、中学生向け、高校生向けなど内容を変える必要があると思いますので、新年度予算ではターゲットを明確にして検討したいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>小学生向けの謎解きゲームを5月に親子で体験したが面白かった。様々な年代向けにもやってもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>美術館ではバックヤードの見学を行っているが、図書館では行っているのか。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>小学校から図書館見学の申し込みがあると、3階の書庫の案内なども行っています。今のところ、一般の方に向けてはしていませんが、小学校の見学の際は通年で行っています。</p>
<p>委員</p>	<p>一般の方も、図書館の裏方を見ると興味が湧くと思う。これからは、こちらから打って出るような広報活動が必要だと思う。</p>

事務局・館長	検討したいと思います。
委員	<p>学校図書館協議会で、6月に中央図書館を会場にして研修を行った。その際にバックヤード見学もあり、参加した人からとても良かったという感想があった。先程委員長の話にもあったが、学校の先生が図書館がどんなところかを知らない、魅力が伝えられないので、今回はよい研修だったと思う。</p>
委員	<p>登録者の年齢層のデータを有効活用して、どういったニーズがあるかが肝心なので、ぜひ分析してほしい。また、デジタル時代ではあるが、活字本来の良さを改めて認識するため、全市内の図書関係者でシンポジウムをやったらどうか。一般市民も巻き込んで、どういった図書館が喜ばれるのか、求められているのかを話し合うとよいのではないかと。最後に、子どもたちに実際にどういう本が読みたいか聞くということが一番ではないか。そういった取り組みがあれば地に足のついた活動ができると思う。</p>
委員長	<p>以上で、協議事項についての質疑を終わりますが、全体を通して何か御意見や御質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>以前、造形大学とのコラボで杉材を使用して作られたコンテナについて試行で学校に貸してもらったが、その件は現在どうなっているのか。</p>
事務局・井口主査	<p>試行的に行われたが、その後商品化には至りませんでした。</p>
委員長	<p>その件は補助金がついて実験的に行われたもので、プロトタイプを作成したもの。評価が非常に良かったが、そこで止まっている。インテリアデザインの金澤先生が間伐材を利用して作ったが、プラスチックのものより評判が良い。予算と相談して検討してほしい。</p>
委員長	<p>スマホのカウンタについては、来年度実現できるようにしっかりと検討してほしい。</p> <p>それでは、時間も参りましたので、これで本日の議事を終了します。皆様、御協力ありがとうございました。</p>
9 会議資料	別添のとおり